

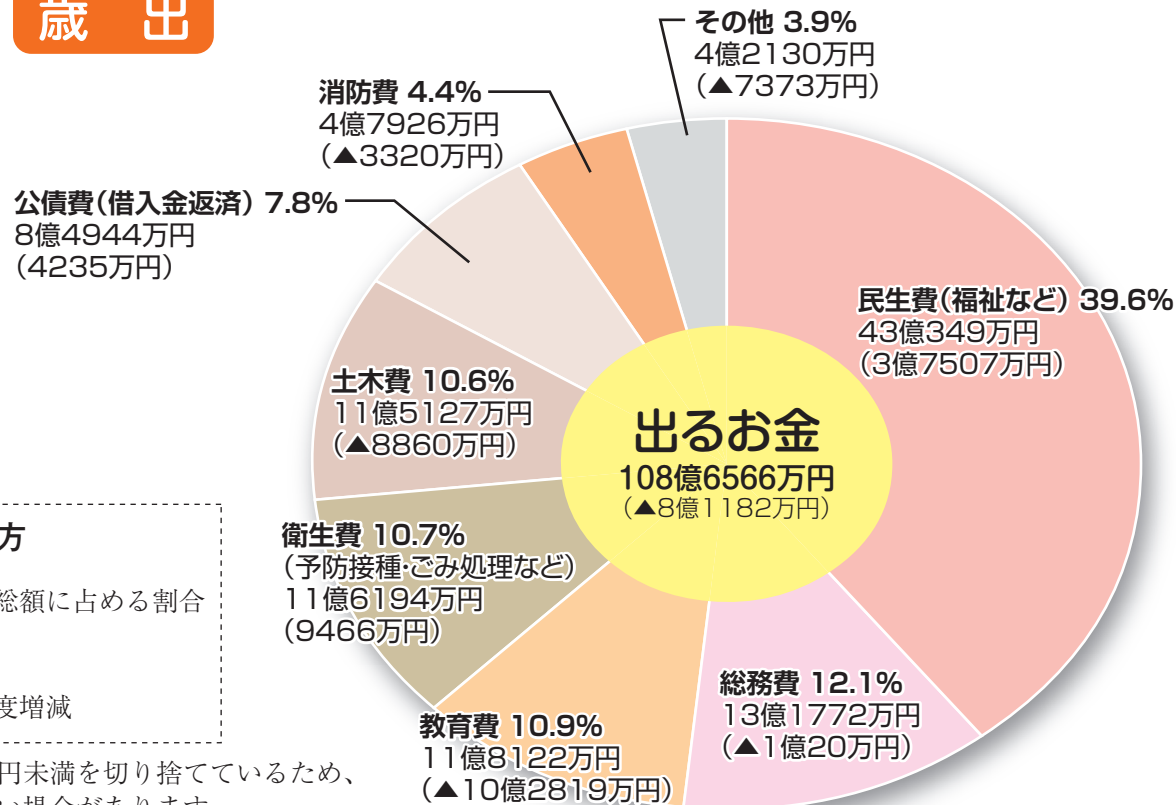
生活環境の改善へ重点予算



一般会計108億6566万円

総額224億3945万円

歳出

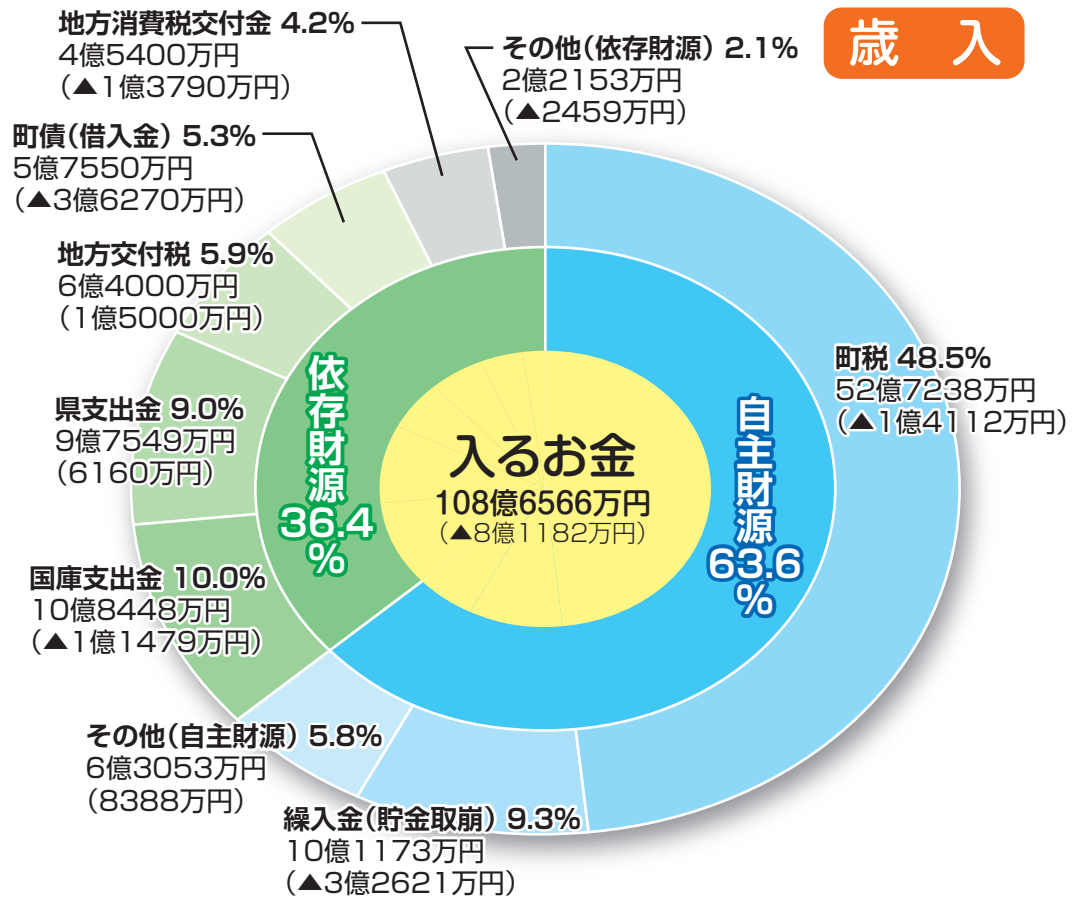


グラフの見方

上段：科目、総額に占める割合
中段：予算額
下段：対前年度増減

※各項目で1万円未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。
▲はマイナス

歳入



新年度も

公共施設整備を重視

平成29年度当初予算額		
区分	予算額	対前年度伸び率
一般会計	108億6566万円	▲7.0%
特別会計	国民健康保険事業	50億7507万円 12.4%
	財産区	14億3778万円 30.3%
	下水道事業	11億4650万円 ▲3.0%
	介護保険事業	22億5731万円 4.9%
	後期高齢者医療事業	3億8495万円 8.1%
特別会計の計	103億164万円 10.7%	
水道事業会計	12億7214万円 31.3%	
総額	224億3945万円	2.2%

一般会計予算は、前年度より8億1182万円7.0%の減となりました。

歳入の主要財源である町税は、企業活動の動向により法人町民税が減額したことなどで、前年度より2.6%減少したが、歳入全体の約48%を占めています。国から財源調整で配分される地方交付税は、前年度より30.6%の増を見込んでいます。国庫支出金は年金生活者等支援臨時給付金に伴う補助金の終了などで9.6%の減となっています。県支出金は教育・保育給付費負担金などで6.7%増加しました。町債は、学校施設の大規模改修などに係る発行を、平成28年度に前倒しで行うことで38.7%の大幅な減となりました。

歳出の主なものは、民生費が9.5%増加し全体の39.6%を占めています。

教育費では、平成28年度の国の補正予算で補助採択された4つの大規模改修事業などを前年度に予算化したことで46.5%の大幅減額となっています。総務費では、前年度と比べ第2庁舎整備事業の減額などで7.1%の減となっている。土木費では、町道播磨町駅前線バリアフリー化工事や喜瀬川遊歩道補修工事の完了などで7.1%減となっています。

衛生費では、焼却炉の修繕費用や高砂市の事業系可燃ごみ受け入れを見込んだ塵芥処理センターの維持管理事業などで8.9%増となっています。

予算特別委員会

ソウブチ池改修の修正案否決

新年度当初予算7件は3月7日に提案され、予算特別委員会に付託し、慎重に審査が行われました。その過程で、漏水調査報告書の内容に不備な点があるとの質疑がありました。その結果、委員から改修事業の積算根拠となる漏水調査を再度実施し、改めて予算計上すべきとの修正案が提出されました。

予算特別委員会では原案と合わせて審査し、採決した結果、修正案は否決となり、原案が可決されました。

賛成討論(修正案)

今回の漏水調査報告書は、報告書としての要件を整えておらず無効である。地域住民が望む事業であるなら、なおさら正しい調査に基づき実施すべきだ。